

MitsuiSougou通信

台風・大雨に備えよう

台風・大雨による災害

台風や局地的豪雨は、大量の雨を短時間で降らせるため、河川が増水したり堤防が決壊したりして水害（浸水や洪水）が起こることがあります。近年は治水事業が進み、大河川の氾濫は少なくはなっていますが、都市部では周辺地域の開発が進んで保水（遊水）機能が低下していることもあり、水害に占める都市部の被害の割合が増えています。

短時間豪雨による水害の特徴

台風、局地的な大雨や集中豪雨に伴う短時間でまとまって降る強い雨による水害には、次のような特徴があります。

- ・水が集まり流れる場所である河川、下水道、用水路などでは、短時間に強い雨が降ることや回りから降った雨が流れ込むことで、数分～数十分で危険な状態になる場合があります。
- ・河川、溪流、下水管、用水路などでは、自分の居る場所で強い雨が降っていなくても、上流など離れた場所で降った雨が流れてくることによって、危険な状態になる場合があります。
- ・河川、下水管、用水路などでは、わずかな雨でも危険になるおそれがあります。このような場所では、大雨や洪水の警報・注意報の発表基準に達しない場合でも災害が発生するおそれがあります。

短時間豪雨による水害の危険性

台風、局地的な大雨や集中豪雨に伴う短時間でまとまって降る強い雨による水害には、上記の特徴と、次のような危険性があります。

- ・側溝や排水溝にゴミがたまっていると、水が流れなくなり増水する危険性が増加します。普段の清掃について配慮が必要です。
- ・地下室にいる場合は、水圧でドアが開かず脱出できなくなる恐れや地下に流入する水の勢いで避難ができなくなる恐れがありますので、早期に避難する必要があります。
- ・車が水没して動けなくなった場合、水位がドアの半分程度に達すると、車のドアが開かなくなり、外に出られなくなる恐れがあります。車が水没するような高架下のアンダーパス等では注意が必要です。
- ・冠水した道路等では、マンホールの中へ雨水が激しく流入している場合があります。泥水で見えにくい場合、吸いこまれる恐れがあり、注意が必要です。

雨や風が強くなる前に、家の外と中の備えの確認を

雨が降ったり、風が強くなったりする前に、窓や雨戸はしっかりと閉め、必要に応じて補強する、側溝や排水溝は掃除して水はけをよくしておく、風で飛ばされそうな庭木やプロパンガスなどは飛ばないように固定したり、家の中へしまったりする、自動車のガソリンを満タンにしておくなど、家の外の備えをしておきましょう。雨や風が強くなってからは、外での作業は危険です。また、飛散防止フィルムを窓ガラスに貼る、水を確保する、スマートフォンやパソコンをフル充電するなど、室内の備えもしておきましょう。さらに避難が必要になったときに備えて、避難場所だけでなく食料や薬、携帯ラジオなど非常用に持ち出すものの確認なども行っておきましょう。

警報、注意報が発表されているときや悪天候のときは、交通機関がストップしてしまうおそれがありますので外出は控え、外出している人は、天気が荒れる前に、早めに帰宅するようにしましょう。市区町村から高齢者等避難の発令があったときは、高齢者やこどものいる家庭など避難に時間を要する家庭では速やかに避難を開始しましょう。それ以外の家庭でも、いつでも避難を開始できるよう準備するとともに、危険を感じたら自主的に避難を開始しましょう。避難指示があったときは、安全なルートで避難場所にすぐに避難してください。中小河川の氾濫や土砂災害などの災害は一気に起こるため、避難が遅れると、命にかかわります。天候が荒れてからでは、移動も大変になりますので早い段階から避難するようにしましょう。なお、既に災害が発生していたり、暴風や大雨等により避難場所までの移動がかえって命に危険を及ぼしかねない状況では、近隣の堅牢な建物などへ緊急的に移動したり、屋外に出ることさえ危険な場合は自宅の2階以上のげやけや沢からできるだけ離れた部屋等に移動するなど、直ちに身の安全を確保してください。

参考：政府広報オンライン

安全運転アドバイス

雨天時は、視界が悪くなるうえに路面が滑りやすいなど、悪条件が重なるときです。一般道路と高速道路では発生しやすい危険や注意すべき点異なる面があります。そこで高速道路における安全走行のポイントについてまとめてみました。

標識等による規制速度を守る

高速道路では、天候や道路工事、交通事故など交通環境の変化に応じて最高速度が規制されます。雨天時も降雨の状況に応じて速度が規制され、通常時は最高速度が時速100キロの区間でも時速80キロ以下になります。雨天時に走行する時は、可変式の数値規制標識や電光掲示板などに注意し、速度が規制されている時は必ずそれを守って走行しましょう。雨天時の高速道路でスピードを出し過ぎると、路面にできた水の膜のうえを水上スキーのようにタイヤが滑走して、ハンドルもブレーキも効かない「ハイドロプレーニング現象」が発生する危険がありますので、十分な注意が必要です。また、高速道路では前車のはねる水しぶきをともに浴びると、前方が何も見えない状態になることがあります。前車の水しぶきがつかからないだけの十分な車間距離をとって走行しましょう。

長いトンネルの出口では天候の変化に注意する

高速道路には長いトンネルが多くあります。長いトンネルでは、入口では晴れていても、出口では雨が降っていることがあります。しかも、トンネルの出口の先は下り坂やカーブになっている場合も少なくありません。入口では晴れていたから出口も晴れていると思い込むと、出口を出たとたん危険な状況に陥るおそれがあります。トンネルの出口に近づいたら、トンネルの出口の天候をよく確認し、雨の場合は速度を落としましょう。



iDeCo(個人型確定拠出年金)とは、将来にそなえて自分で作る私的年金の制度のことです！

iDeCoとは、公的年金（国民年金・厚生年金）とは別に給付を受けられる私的年金制度の一つです。公的年金と異なり、加入は任意で、加入の申込、掛金の拠出、掛金の運用の全てをご自身で行い、掛金とその運用益との合計額をもとに給付を受け取ることができます。節税しながら資産形成ができ、少額からでもはじめるので、投資経験がない方にも将来のお金の準備をする方法としておすすめの制度です。公的年金と組み合わせることで、より豊かな老後生活を送るための一助となります。

三井総合保険事務所はiDeCoの加入手続きのお手伝いをしています。詳しい内容のご照会や資料請求など、お気軽にご相談ください！



資料請求はこちら

◆おいしいレシピ◆ ～きのこ秋鮭の炊き込みご飯～

秋の恵みをあじわうご飯

【材料】2人分

- ・米 1カップ
- ・秋鮭(生・切り身) 1切れ
- ・しめじ、まいたけ 各50g
- ・万能ねぎ(小口切り)2本
- <A> ・だし汁 1カップ
- ・めんつゆ(濃縮2倍) 大さじ2
- ・塩、酒 各少々

【作り方】1. 鮭は塩と酒を振りグリルで香ばしく焼く。きのこは手でほぐす。
2. 米を洗い、A、1)と共に土鍋に入れて強火にかける。煮立ったら弱火にし、約10分炊いて火を止め、約10分蒸らす。
3. 鮭をほぐして骨を除き、全体を混ぜて器に盛る。万能ねぎを散らす。

★炊飯器炊きでも大丈夫です。鮭をこんがり焼くのがおいしくするポイントです。またしょうがを入れて香りのプラスもおすすめです。季節柄さんまでもおすすめです。

